# ブラッシュアップ熊毛

熊毛教育事務所だより

令和3年度　第2号

## 確かな学力の育成 －PDCAサイクルに基づく取組を通して－

熊毛教育事務所　指導課長　川畑　昭二

先日，２年ぶりに実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表された。現在，各学校や関係機関等で分析が進められていると思うが，確かな学力の育成は喫緊の課題である。

県は，本年度から３か年計画で「未来の創り手を育成する学力向上プログラム」を推進している。その中で，「コアスクールプロジェクト」と「コアティーチャーネットワークプロジェクト」は，各教育事務所単位で取り組むことになっている。

当教育事務所においては，本年度，「コアスクールプロジェクト(中学校で実施)」のコアスクールに西之表市立種子島中学校，エリア推進スクールに南種子町立南種子中学校と屋久島町立岳南中学校を指定し，授業づくりに効果的な校内研修（授業研究）を支援しながら児童生徒の学力向上を目指している。また，「コアティーチャーネットワークプロジェクト」では，地区の課題である算数・数学と英語の学力向上を目指し，地区内の12名の小・中学校の先生方が，小中連携を図りながら数学科と英語科のモデル授業づくりを行っている。そして，「コアティーチャーネットワークプロジェクト」会議で構想した授業は，「コアスクールプロジェクト」の指定校で検証するようにしている。

一方，各学校へは，日々の授業の充実を目指し，「『見通す－学び合う－振り返る』探究型の授業」と「熊毛メソッド（３つの重点と９つの徹底事項)」の実践を呼びかけている。さらに，探究型の授業実践では，各学校の実態に応じた「こだわりの視点」を設定して追究していただいている。

本年度も折り返しを過ぎようとしているが，「こだわりの視点」を含め，各学校の学力向上対策は成果を上げているだろうか。

医師は，具合を悪くした患者が来ると，まず，その原因を探るために診察や検査を行う。次に，診察や検査の結果によって，薬を与えたり手術をしたりするなどの治療を行う。そして，患者の様子を経過観察し，回復が見られなければ，違う治療方法を試みる。さらには，これらの過程や結果をカルテに記録し，今後の治療に生かしている。医師は，このように患者が回復するまで責任をもつ。

改めて言うべきことでもないが，学校（教師）の使命の一つは，児童生徒の学力保障である。そのためにも，常に児童生徒の学力の状況を的確に把握し，改善（学力の定着・向上）が図られていない場合は，「こだわりの視点」を含めた学力向上対策を見直すとともに，次の手立てを講じていただきたい。そして，コロナ禍で制約を受けることも多いと思うが，責任をもって，児童生徒一人一人に確かな学力を付け，次の学年・学校等へ送り出していただきたい。

## 第2回熊毛地区小･中学校校長研修会

◆ 令和3年7月29日(木)

西之表市民会館，屋久島町役場

本年度２回目の校長研修会は，新型コロナウイルスの感染状況により，種子島会場と屋久島会場によるオンラインでの開催となりました。種子島会場から伊関小学校の中鉢校長，屋久島会場から中央中学校の岩川校長の事例発表があり，両会場で学校経営アクションプランに基づいた研究協議を行いました。各校の課題を共有し，成果を上げた取組を知ることができて，大変有意義であったという意見が多数得られました。

また，県教育庁教職員課の下假屋人事管理監から，今，学校経営に求めらることや校長としての立場や見方・考え方などについて，熱意あふれる講話をいただきました。校長としての職責を再認識し，今後の学校経営に気を引き締めてあたりたいといった感想が得られました。

〔人事管理監講話〕

## R3 第72回鹿児島県図画作品展

※ 各校(園)１点ずつ応募

**〔県市議会議長会会長賞〕**

中種子町立納官小学校３年　濱　吟二郎　さん
西之表市立現和小学校４年　森下　琉音　さん
(西之表市)榕城幼稚園　　西　　晴信　さん

**〔松下孝建設賞〕**

西之表市立榕城小学校５年　岩下　夏希　さん

※ 作品は県教育委員会 HP に公開されています。

## R3 県子ども会育成連絡協議会表彰

西之表市　峯子ども会育成会
中種子町　油久校区子ども会育成会

## R3 優良少年少女団体及び地域高校生クラブ等表彰

西之表市　種子島レオクラブ
屋久島町　楠川楠川子ども会

## R3 熊毛地区子ども会育成連絡協議会表彰

【子ども会】西之表市　中目子ども会
【育 成 会】中種子町　南界校区子ども会育成会
【指 導 者】屋久島町　矢野 憲一 氏

受賞おめでとうございます。今後も社会全体で熊毛の子供たちを育んでいきましょう。

## 熊毛地区フレッシュ研修他校種参観

◆ 令和3年6月29日(火) 県立中種子養護学校

年２回の他校種参観の１回目の研修を小・中学校６人の初任者が特別支援学校で行いました。

それぞれが学級経営や授業の中で，個に応じた指導の在り方に様々な課題を抱えているところですが，ユニバーサルデザインの授業のポイントや合理的配慮などについて詳しく教えてもらうとともに，授業参加や配置学級の児童生徒との交流活動を体験し，明日からの学級経営や授業の実践意欲を高めることができました。中種子養護学校の先生方に積極的に質問をする熊毛地区の初任者の姿は，とても頼もしく感じました。

## 熊毛地区学校給食管理運営研究協議会

◆ 令和3年6月15日(火) 種子島こり～な

◆ 令和3年6月24日(木) 屋久島離島開発総合センター

６月に，学校給食の意義と役割についての認識を深め，学校給食関係者の資質向上と学校給食の管理運営の改善・充実を図ることを目的に，中種子町と屋久島町の会場で開催しました。

講話では，食育シニアアドバイザーの外山澄子先生から，食育基本計画第４次や食育の推進，朝食の大切さ等についてお話していただきました。中でも朝食の大切さについては，栄養面だけでない効果について改めて学ぶことができました。

児童生徒の健康のために，今回の内容を生かした指導をお願いします。

## 特別支援教育コーディネーター養成研修会

◆ 令和3年7月26日(月) 西之表市民会館

〔事例検討会〕

特別支援教育のニーズが高まる中，特別支援教育コーディネーターが，校内委員会の推進や学校内外の連絡調整，保護者との相談窓口等の役割を担えるようになるとともに，特別支援教育コーディネーターの活動内容に関する基礎的理解を図ることを目的に，西之表市民会館で開催されました。

演習では，講義内容を基に，実際に事例検討会を行いました。事例検討会は，支援の必要な児童生徒の支援策につながるものなので，演習で体験したことを学校で活用することが大切です。

## 熊毛地区道徳教育研修会(種子島地区)

◆ 令和3年7月2日(金) 中種子町立増田小学校

令和２・３年度地区研究協力校研究公開を兼ねて，種子島地区の道徳教育研修会を開催しました。

増田小学校では，「考える場面」と「議論する場面」の設定や自己を見つめる振り返りの視点の明確化を図ることにより，「考え，議論する」道徳の学習過程における自校の型を確立させました。また，校内の道徳的環境づくりに努めたり，朝の活動「あったかさんタイム」の設定など教科外の活動を工夫したりすることにより，児童一人一人の道徳実践を支える取組を充実させました。さらに，道徳科の授業におけるICTの効果的活用についても研究を重ね，公開授業では，児童の姿で研究の成果を示すことができました。

屋久島地区の道徳教育研修会は，10月８日(金)に屋久島町立宮浦小学校で開催します。

## 熊毛地区子ども会大会・創作活動大会

新型コロナウイルス感染の拡大状況を考慮し，地区内の子ども会会員が参集して開催することはできませんでした。そこで，各市町子ども会育成連絡協議会と連携の下，各家庭でＫＹＴやヤコウガイアクセサリーづくりを体験してもらいました。また，活動後は二次元コードのアンケートに回答したり，完成した作品の写真をアップしたりして，お互いの学びを共有しました。

集団での活動ができない状況が続いていますが，新たな体験ができるよう工夫していくことで，子供たちの可能性を広げる一助となればと考えております。

## 文化財の紹介

「屋久島灯台」及び「屋久島灯台石塀」が，令和３年６月24日に，国登録有形文化財（建造物）に登録されました。屋久島灯台は，台湾航路整備のため屋久島北西の永田岬に築造された煉瓦造灯台です。現存する明治期灯台で最南部に位置し，峻険な要衝の景観に寄与する貴重な文化財として認められ登録されました。

今回の登録により，地域の方々の関心も高まるとともに，島外からの観光客にも屋久島の新たなる魅力を感じていただけると期待しています。

## STOP! 交通事故・交通違反

本年度，管内において教職員の交通事故・交通違反が９月１日現在８件発生しており，昨年度の同時期より６件増加しています。要因は，「油断」，「焦り」，「安全確認不足」によるもので，心と時間に余裕をもち，危険予測をしながら運転していれば防げるものばかりです。常に危険予測を意識した運転を心がけ，車道だけでなく，駐車場内等でも安全確認を徹底しましょう。

令和３年９月21日(火)から９月30日(木)まで「秋の全国交通安全運動」期間です。

秋口になると日没時間が早まり，夕暮れ時や夜間の交通事故が多くなります。交通事故は，ひとつ間違えば命に関わる重大な事故につながりかねません。運転する際には，心と時間にゆとりをもち，交通ルール・マナーを遵守し，教職員としての信用を失わないよう交通事故・交通違反の防止に努めましょう。